資料１－２

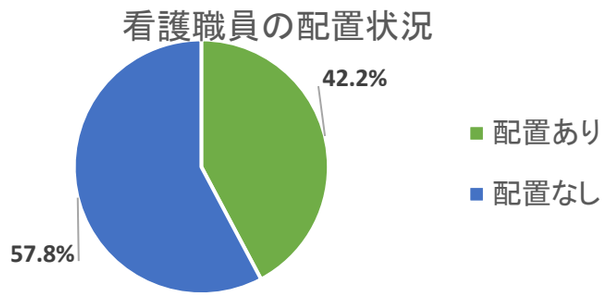
令和7年度 保育所等の看護師等配置状況調査集計結果

青森県こどもみらい課調べ
調査時点：令和７年１２月１日現在

県内の保育施設（５４０施設）を対象に、看護師の配置状況や医療的ケア児の受入の可否等について調査したもの。
※【】内は令和6年度の数字。

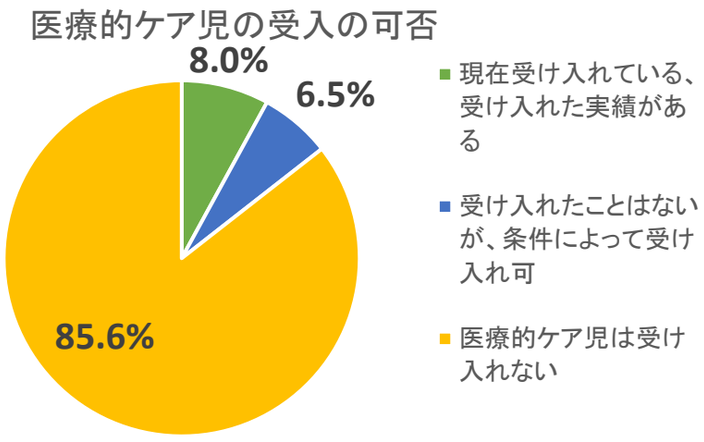
１　看護職員の配置状況

① 配置あり	228 施設	【244施設】
（うち、看護師207名、准看護師115名）		
② 配置なし	312 施設	【318施設】



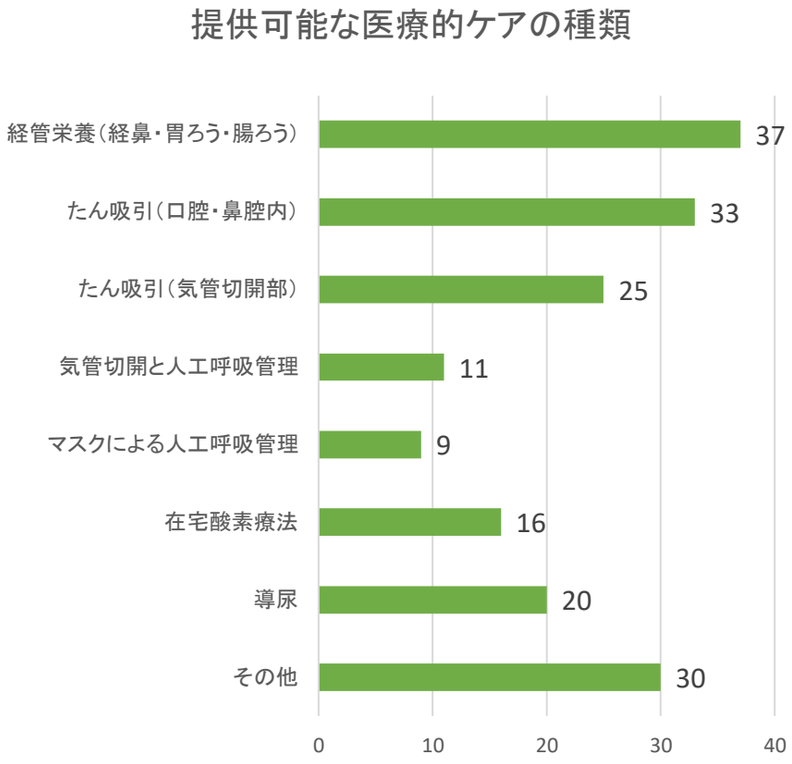
２　医療的ケア児の受入の可否

① 現在受け入れている、受け入れた実績がある	43 施設
② 受け入れたことはないが、条件によって受け入れ可	35 施設
③ 医療的ケア児は受け入れない	462 施設
受入可能人数（①、②）	78 人



３　提供可能な医療的ケアの種類（複数回答可）※相談があれば検討する場合は含まない

① 経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう）	37 施設	【35施設】
② たん吸引（口腔・鼻腔内）	33 施設	【33施設】
③ たん吸引（気管切開部）	25 施設	【20施設】
④ 気管切開と人工呼吸管理	11 施設	【5施設】
⑤ マスクによる人工呼吸管理	9 施設	【3施設】
⑥ 在宅酸素療法	16 施設	【17施設】
⑦ 導尿	20 施設	【20施設】
⑧ その他	30 施設	【30施設】



提供可能（または検討可能）な医療的ケアの種類は、経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう）が最も多く、たん吸引（口腔・鼻腔内）、次いでたん吸引（気管切開部）、導尿の順となった。
その他の内容は、インスリン注射が多くを占めている。

４　受け入れ可能の場合の年齢等条件

主な内容

【児童の状態】
- 集団保育・生活（通常保育）が可能であること。
- 容体が安定していること。
- ２～５歳までのこども

【看護師の配置状況等】
- 看護師や保育教諭の配置体制が整えば可能。
- 看護師１名配置のため、不在の場合に受け入れ可能日の制限があること。

【その他】
医療機器の整備が整えば受入可能。
- イベント等の際に家族の協力が得られるのであれば受け入れるか検討したい。
- 子どもの安全を確認できる場合は受入れ可能。

５　医療的ケア児の受け入れに係る相談

（１）相談の有無（令和６年度～令和７年１２月１日）

あり	44 施設
なし	496 施設

（２）相談の内容及び受け入れに至らなかった理由（（１）が「あり」の場合）　※　標記・表現は編集。

①相談先	②相談の内容	③受入に至らなかった理由
家族、行政	喀痰吸引のこどもの対応はできるか	車椅子使用中であり、保育園がバリアフリーではなかったため。
家族	療育に通っているが、同年齢の健常児のいる保育園に通わせたい	自宅からの距離が遠く、冬季間通うのが難しかったため。
行政	現在園に通っているこどもの兄弟（医ケア児）を入園させることは可能か	現在の園の職員配置や、個別対応できる保育室の確保ができなかったため。
行政	酸素吸入や喀痰吸入の対応は可能か	勤務している看護師が非常勤であるため、常勤の対応ができないため。

６　令和７年１２月１日現在で受け入れている医療的ケア児数

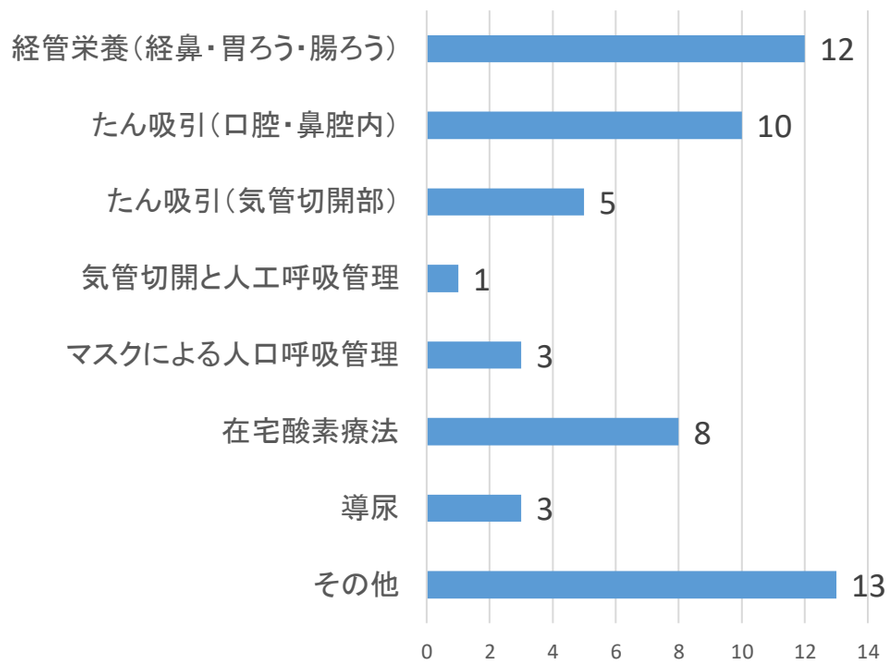
３１名（２２施設）　【27名（16施設）】

※１歳５名、２歳４名、３歳５名、４歳４名、５歳１０名、6歳３名

（医療的ケアの内容（重複有））

① 経管栄養（経鼻・胃ろう・腸ろう）	12 名	【12名】
② たん吸引（口腔・鼻腔内）	10 名	【11名】
③ たん吸引（気管切開部）	5 名	【6名】
④ 気管切開と人工呼吸管理	1 名	【2名】
⑤ マスクによる人口呼吸管理	3 名	【1名】
⑥ 在宅酸素療法	8 名	【3名】
⑦ 導尿	3 名	【3名】
⑧ その他	13 名	【4名】

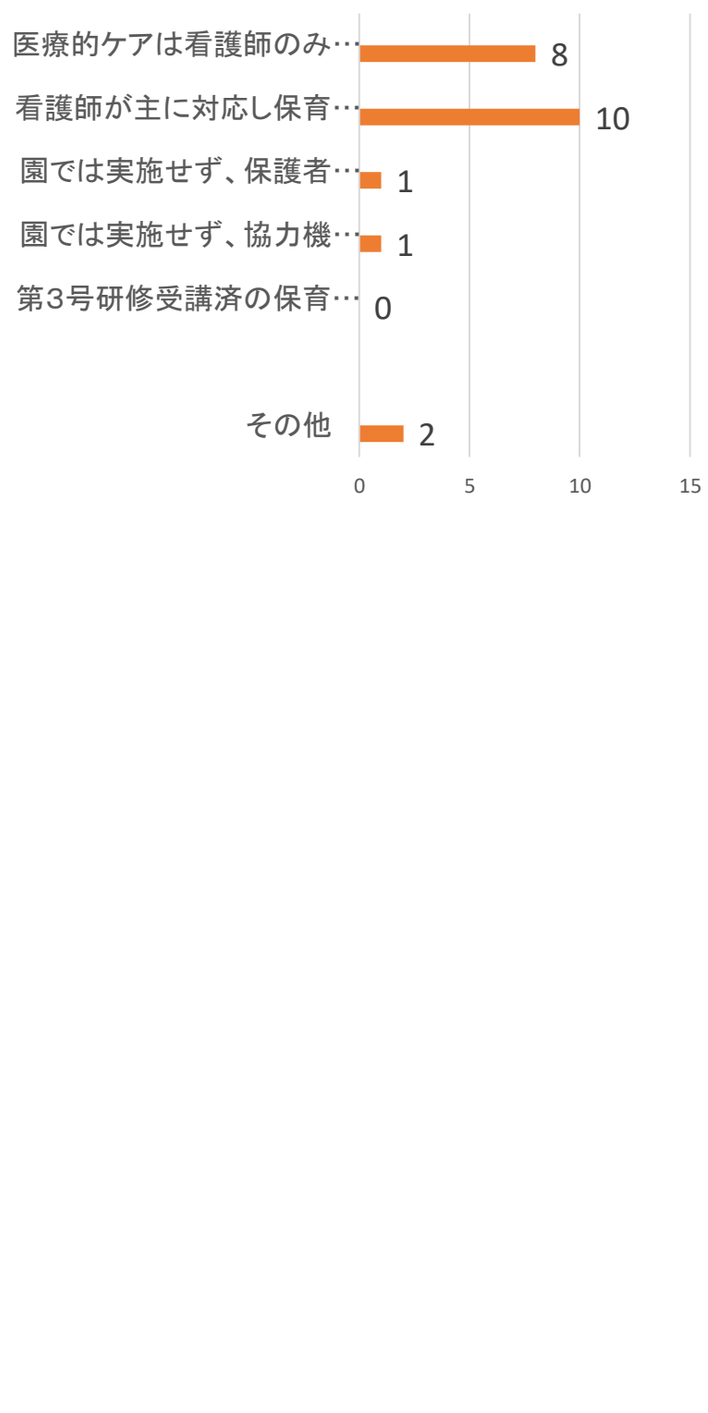
（痙攣発作の管理、酸素飽和度測定、インスリン注射、血糖測定、エピペン対応、体温の管理）



７　上記６の施設における医療的ケアの実施状況

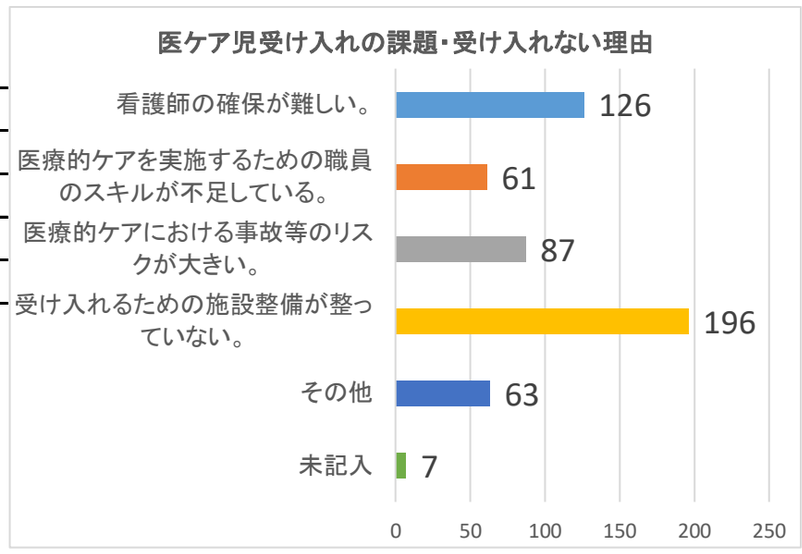
① 医療的ケアは看護師のみが対応	8 施設【6施設】
② 看護師が主に対応し保育士が補助	10 施設【8施設】
③ 園では実施せず、保護者が対応	1 施設【0施設】
④ 園では実施せず、協力機関が対応	1 施設【1施設】
※県内事例は訪問看護ステーションのみ	
⑤ 第３号研修受講済の保育士が対応	0 施設
⑤ その他	2 施設【1施設】

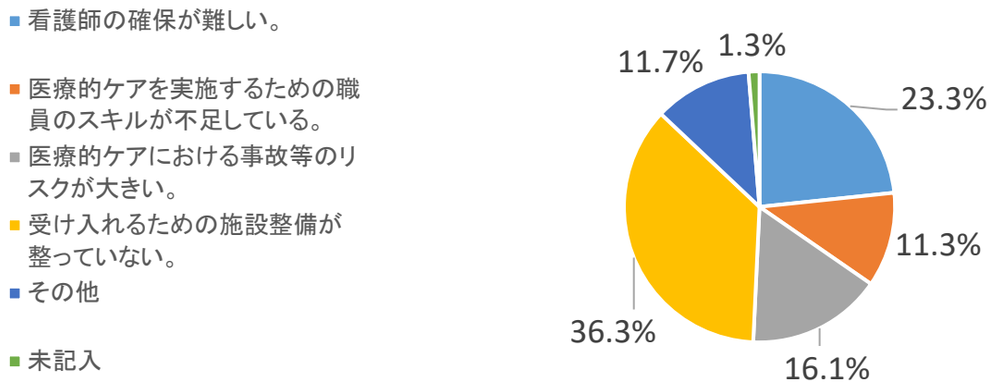
※園の看護師が公休の際は、訪問看護サポートセンターの看護師が対応



8　医療的ケア児を受け入れるための課題・受け入れない理由

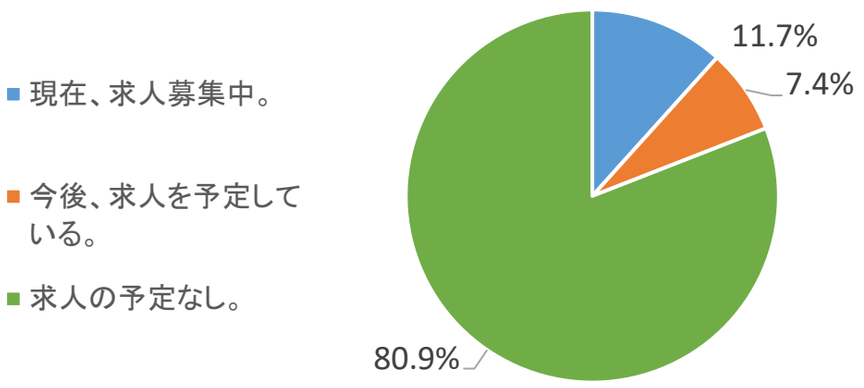
① 看護師の確保が難しい。	126 施設
② 医療的ケアを実施するための職員のスキルが不足している。	61 施設
③ 医療的ケアにおける事故等のリスクが大きい。	87 施設
④ 受け入れるための施設整備が整っていない。	196 施設
⑤ その他	63 施設
⑥ 未記入	7 施設





9　看護師の募集状況について

① 現在、求人募集中。	63 施設
② 今後、求人を予定している。	40 施設
③ 求人の予定なし。	437 施設



10　求人募集の内容について（９で①と答えた場合）

（主な内容）

雇用形態	雇用期間	就業時間	労働日数
正職員	ー	８：00～17：00	週5日
パート	R8.4～R9.3（契約更新の可能性あり）	9:00～13:00または13：00～17:00	週5日
パート	R8.4～R9.4（契約更新の可能性あり）	８：00～17：３０	ー
正職員	ー	8:00～16:45	週５日
パート	R8.4～	８：00～17：00	週5日

11　県ナースセンター（ナースバンク事業）について

① 知っている。	277 施設
② 知らない。	256 施設

（未記入7）

12　ナースセンターに求人登録あるいは相談をしたことがあるか。（11で①と回答した場合）

① ある。	30 施設
② ない。	244 施設

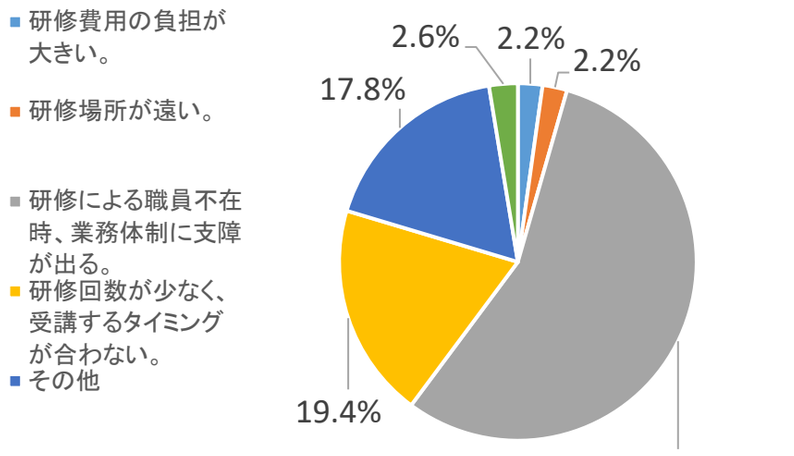
（未記入3）

13　介護職員等医療的ケア研修（喀痰吸引等研修）の３号研修の受講状況等

①　受講あり	１５名（１１施設）
②　受講なし	（５２７施設）

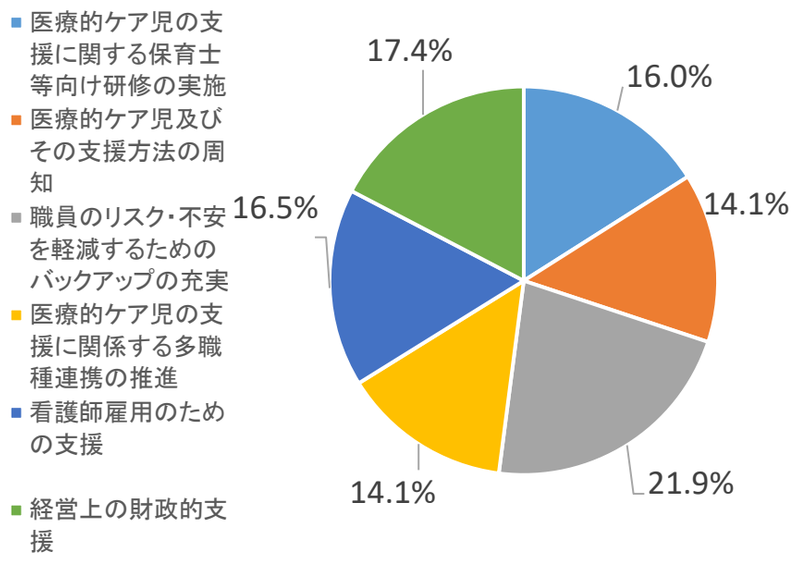
14　介護職員等医療的ケア研修(喀痰吸引等研修)の課題・問題点

①　研修費用の負担が大きい。	12 施設
②　研修場所が遠い。	12 施設
③　研修による職員不在時、業務体制に支障が出る。	301 施設
④　研修回数が少なく、受講するタイミングが合わない。	105 施設
⑤　その他	96 施設
⑥　未記入	14 施設



16　保育所等における医療的ケア児の保育を推進するために有効だと考える対策（複数回答可）

①　医療的ケア児の支援に関する保育士等向け研修の実施	261 施設
②　医療的ケア児及びその支援方法の周知	230 施設
③　職員のリスク・不安を軽減するためのバックアップの充実	358 施設
④　医療的ケア児の支援に関係する多職種連携の推進	230 施設
⑤　看護師雇用のための支援	269 施設
⑥　経営上の財政的支援	283 施設



12　難聴児の受入について

①　受入の対象としている	38 施設
②　受入の対象としていない	237 施設

13　令和7年12月1日現在、難聴児を受入ている場合の人数

施設数	22 施設
人数	26 人